

■平成30年度「空き地対策の推進に向けた先進事例構築モデル調査」支援対象一覧

(都道府県順)

応募団体名	調査地域	調査名称	調査概要
一般財団法人 下川町ふるさと開発 振興公社	北海道下川町	豪雪地域ならではの空き地を活用した共助型雪処理スキーム構築のための調査事業	・ 空き地の実態について調査するとともに、空き家データベースを基に将来空き地となる可能性の高い場所を予測し、空き地の全体像を把握する。 ・ 加えて、空き地を雪の一時堆積場として活用すること等について地域の合意形成を進め、除雪の効率化・高齢者の除雪負荷の軽減等を目指す。
一般社団法人 コトハバ	群馬県みなかみ町	絶景空き地でのキャンピングオフィスを通じた、地主と都市部テレワーカーとの関係性構築事業	・ 眺望に優れた空き地をキャンピングオフィスの設営地として活用することで、都市部のテレワーカー等に対して地域の魅力を発信。 ・ 中山間地域におけるテレワークのノウハウ蓄積、地域の空き地活用につながるような都市と地域の関係の構築等を目指す。
緑が丘西自治会	千葉県八千代市	新市街地・街なか未利用地活用事業	・ 自治会内の未利用地、管理不全の宅地について、土地所有者の探索や利用意向アンケート、タウンミーティング等を実施。 ・ 地域住民が主体的に空き地の管理・利活用等を図ることで、地域の魅力創出につなげる。
株式会社 エンジョイワークス	神奈川県三浦市	トレーラーハウスを利用した、三浦の農体験ができる宿泊施設運営事業	・ 海岸沿いの空き地に小屋型トレーラーハウスを設置し、地域の活性化を目的とした宿泊事業を運営。 ・ 宿泊者に対しては、地域資源である農業の体験プログラムを提供し、地域の魅力発信と継続的な取組につなげ、関係人口及び将来的な移住者の増加を目指す。
国立大学法人 福井大学	福井県福井市／ 坂井市／あわら市	非集約エリアなど郊外での空き地活用の仕組みづくりとエリアマネジメントに向けた基盤構築	・ 複数の郊外住宅地等を対象に、①空き地の菜園利用や複数区画利用の実態把握・促進策の検討、②空き地の地権者の意向把握、不在地主の意識啓発手法、③地区特性に応じた空き地活用の仕組みづくり等について検討を行う。
神戸市	兵庫県神戸市	司法書士会との連携による財産管理人制度の有効活用	・ 所有者不明土地法に基づき、管理不全の所有者不明土地について、地方公共団体の長が不在者財産管理人の選任を申立てることが可能となるため、司法書士会との連携のもと、制度の有効活用による所有者不明土地の適切な管理、流通促進を図るためのノウハウの蓄積等を図る。
NPO法人 兵庫空き家相談センター	兵庫県宝塚市	空き地所有者等に対する啓蒙活動	・ 行政とNPO法人の役割分担のもと、適正管理がなされていない空き地所有者等に対し、除草や立木の適正管理等を行政から働きかける。 ・ 同時に、適正管理が困難な要因を把握し、空き地所有者が抱える課題について相談できる団体があることを伝達。希望者に対しては、NPO法人が相談に応じることで、管理不全の空き地等の解消を目指す。